

令和二年十二月八日受領
答弁第四一号

内閣衆質二〇三第四一号

令和二年十二月八日

内閣総理大臣 菅 義 偉

衆議院議長 大島 理 森 殿

衆議院議員松原仁君提出中国によるTPPへの参加検討表明に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員松原仁君提出中国によるTPPへの参加検討表明に関する質問に対する答弁書

一の1及び2並びに二の1及び2について

英国及び台湾は、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（平成三十年条約第十六号。以下「TPP11協定」という。）への加入に関心を表明してきていると承知しているが、お尋ねの「打診」を行ったかどうかを含め、個別のやり取りを明らかにすることは、相手国・地域との関係もあることから、お答えを差し控えたい。

一の3、二の3並びに三の2及び3について

TPP11協定への加入手続は、加入を希望する国又は独立の関税地域からTPP11協定の寄託者であるニュージーランドに加入交渉を開始するための要請が通報されたことを受け、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定委員会と当該国又は独立の関税地域との間で加入手続を開始するかどうかを決定することとしており、当該通報が行われていない段階であることから、仮定の質問にお答えすることは困難である。

三の1について

中国政府が公表しているところによれば、習近平国家主席は、令和二年十一月二十日に行われたアジア太平洋経済協力首脳会議において、TPP11協定への参加を「積極的に検討する」と述べたと承知している。